

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目		
1	カテゴリ1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ1(1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○ 非該当
	● あり ○ なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○ 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○ 非該当	
● あり ○ なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○ 非該当	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○ 非該当	
● あり ○ なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○ 非該当	
● あり ○ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○ 非該当	
カテゴリ1の講評			
事業所の理念、目指していることをホームページやパンフレットで示している 障害者多機能事業所を必要とする地域の子どもとご家族のために、支え手となる地域の方が集まって6年前に設立。地元での運営を主軸としているため、現時点では1事業所のみ運営である。 「驕らず、折れず、腐らずに、弛むことなく、焦らずに、あきらめることなく、信じ続けた先に、子どもの発達・幸せが！」を理念とし、活動を通じて「自ら、ふみだす！」「自ら、生きる！」「自ら、幸せをつかむ！」といった生きる力を育む土台作りを目指している。この理念はパンフレットやホームページを通じて発信されており、職員にも理解浸透が図られている。 経営層は課題改善と運営の安定化に向けてリーダーシップを発揮し体制構築を図っている 地元で活動する人々の思いを集めて設立されたものの、運営5年目には請求処理において行政処分を受けた経緯があった。それまで経営層は、運営については関りを控えることで管理者がやりやすい環境になると考えていたが、結果として運営に躓きが生じた。しかし、利用者に対するサービス内容やご家族からの信頼が厚く、何よりも子どもたちの居場所を無くしてはならないという強い思いが経営層と職員に共有された。経営層はリーダーシップを発揮して運営にも積極的に介入し、新たな管理者を迎えて、職員とともに改善に取り組んでいる。 重要な案件については経営層と職員が会議の場でともに検討し、経営層が決定している 重要な案件については、経営層も交えて職員会議で検討し、最終決定は経営層が行っている。会議等においては常に理念・基本方針に立ち返ったサービスが提供できるよう、職員への理解浸透を図るとともに、自由に意見や提案ができるオープンな雰囲気づくりや担当者、サブ担当など役割を代行できる体制づくりをおこなっている。決定事項については議事録に記録し共有できるようになっている。利用者の支援に関わる決定事項については、必要に応じて各ご家庭にメールや書面で説明している。			

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(0●●)
評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>利用者・ご家族、職員に対してガイドラインに基づいた自己評価を実施している</p> <p>利用者・ご家族、職員の意向については、ガイドラインに基づき毎年自己評価を実施し、ご家族の要望に沿った対応を図り、評価結果はホームページで公表している。また、職員の意向を把握するためには、職員会議でも意見を出しやすく、必要に応じて管理者がヒヤリングを行うなど風土づくりに努めている。また、地域の福祉の現状については東京都福祉局のホームページを確認したり、関係機関連絡会や障害児通所支援事業所連絡会などを通じて情報交換を行なっている。さらに、経営層や職員を通じて地域の身近な情報を収集できる環境が整っている。</p> <p>中長期計画や単年度計画は明文化できるように今後策定を予定している</p> <p>昨年3月から現在の体制の始動し、経営層と管理者による経営の改善策と安定化を図っている。また、1事業所のみで運営で創設時から在籍する職員が多数を占めていることから、明文化された計画が無くとも、予算計画書や研修計画書、会議、委員会開催、研修受講などが共有されている。そのため、事業所としては中長期計画の必要性を感じていなかったものの、運営改善から見てきた将来の展望について、経営層も職員も楽しめる未来が見えてきたことから、今後は明文化を予定し、それに合わせた単年度計画の策定も次年度以降で予定している。</p> <p>職員の役割分担とテーマに沿った委員会活動を通じて理念の実現に向けて取り組んでいる</p> <p>事業所理念や基本方針など目指す姿に向けた行動として、年間分担表を作成し、委員会や毎月の会議で検討と確認をしている。また、計画推進に向けて各種研修受講に職員が参加する機会があり、知識を深め、専門性を高めることで行動に反映できるような体制を整えている。経営層は計画や目標に向けた取り組みの定着を図るため、職員に対する人材育成と環境整備の必要だと捉えており、できるところでは設備備品の改廃に着手することを今後優先していきたいと考えている。</p>		

カテゴリ3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○ 非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○ 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○ 非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○ 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○ 非該当

カテゴリー3の講評

**法・規範・倫理に関して、事業者ハンドブックが職員に常に閲覧可能な形で提供している**

福祉サービスに従事する職員として守るべき法・規範・倫理については、職員室に設置するほか、法改正時には文書回覧や会議での共有を行っている。特に、過去の反省から経営層と運営のベクトル合わせをして強化を図っている。この改善のフットワークの軽さも小規模の運営のメリットと捉え、より法令遵守を意識し、不明点があればすぐにガイドブックを開くなど確認作業も定着している。個人の尊厳の尊重、虐待の防止に関しては、外部研修に参加し、その情報を基に所内研修を実施して理解を深めるよう取り組んでいる。

**苦情解決制度や相談窓口に関して契約時に説明を行っている**

苦情解決制度や相談窓口に関して、契約時には重要事項説明書に基づいて説明を行うとともに、館内掲示において、利用者・ご家族への周知が図られている。また、アンケートや家族とのメールなどを通じた意見の把握や情報交換を積極的に行っている。虐待に対する組織的な取組として、虐待防止委員会の開催や研修受講、セルフチェックの実施などにも取り組んでいる。その他虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得た場合には、適宜子ども家庭支援センターの担当者へ情報共有する体制も整備されている。

**透明性を高めるためにホームページを活用した情報公開のほか、地域連携を強化している**

透明性を高めるためにホームページで活動内容を掲載したり、ガイドラインに基づく自己評価表を公表するなどの取組を行っている。また今年度、東京都福祉サービス第三者評価を受け、その結果を公開することで、より開かれた組織となるように努めている。見学については所属園や学校の担任の先生、関係機関の見学は随時行っているが、利用者の特性上、療育への支障やプライバシーの確保の観点からボランティアの受け入れは行っていない。地域との連携については、地域の青少年委員会などを通じて地域関係機関のネットワークに参画するなどしている。

カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(○○●●)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○ 非該当
○ あり ● なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○ 非該当
○ あり ● なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○ 非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(○○○○)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○ 非該当
カテゴリー4の講評		
<p><b>事故防止、感染症対策、災害等のリスクを想定した対策を講じている</b>            事故防止、感染症対策、災害などのリスクマネジメントに積極的に取り組み、各種マニュアルを整備している。また、ヒヤリハット作成により発生した事例について、再発防止を検討し、全職員への周知を行うことで、予防と再発防止に努めている。その他にも、避難訓練の実施やリスクマネジメントの外部研修や感染症対策、ヒヤリハットの内部研修などを通じて、リスクマネジメントへの意識を向上させている。安全衛生に関し、関係機関から得られた情報を職員に適切に周知し、様々なリスクマネジメントに取り組んでいる。</p> <p><b>次年度には事業継続計画(BCP)が適切に設置されるよう準備を整えている</b>            新型コロナウイルスの影響を受けた状況下で、事業継続に関する対応に注力しているが、中長期的な運営体制や大規模災害や感染症、深刻な事故などを想定した事業継続計画(BCP)の策定が課題となっている。令和6年度からの義務化に向けて、業務継続委員会において計画の検討と策定を進めており、最終調整段階に入っている。そのため、次年度には事業継続計画(BCP)が適切に設置される見通しである。</p> <p><b>個人情報の管理や機密情報、国保連請求のセキュリティを確保し適切に活用している</b>            個人情報の収集、利用、保管、廃棄などについては、職員採用時に書面で説明を行い、「秘密情報の保持に関する誓約書」を提出してもらっている。利用者の個人情報保護に関しては、利用者との契約書に明示し、書面で同意を得て、個人情報保護法と同意書に基づき、厳格に取り扱っている。また、パソコンへのアクセスには全職員に対して個別の個人IDを発行し、高いセキュリティを確保するため、機密情報にはパスワードを設定している。国保連データについては、入力担当者のみが取り扱い、セキュリティ確保のためにパスワードを設定している。</p>		

5			カテゴリ-5	
5			職員と組織の能力向上	
			サブカテゴリ-1(5-1)	
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
			11/12	
評価項目1			事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている	
			評点(○●)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している		○非該当	
○あり ●なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる		○非該当	
評価項目2			事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している	
			評点(○○)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている		○非該当	
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している		○非該当	
評価項目3			事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる	
			評点(○○○○)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している		○非該当	
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		○非該当	
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している		○非該当	
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている		○非該当	
評価項目4			職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる	
			評点(○○○○)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている		○非該当	
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる		○非該当	
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる		○非該当	
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている		○非該当	
			サブカテゴリ-2(5-2)	
組織力の向上に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
			3/3	
評価項目1			組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる	
			評点(○○○)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		○非該当	
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている		○非該当	
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		○非該当	

カテゴリ-5の講評

**地域主導の障害児多機能型支援事業所の理念を実現していくための人材を確保している**

障害者多機能事業所を必要とする地域の子どもとご家族のために、支援の手となる地域の方が集まって設立した経緯があり、地元での運営を主軸とし、現時点では1事業所のみを運営している。採用時には資格、経歴、スキルのほかに人柄も重視しており、その結果、人材が充実していることが事業所の強みとなっている。異動がないため、将来の人材構成を見据えて研修に参加させ、将来的な人員配置計画にも取り組んでいる。

**職員の意向を汲んだキャリアパスを支援し意欲向上にも取り組んでいる**

1事業所のみ規模のメリットを活かし、個別の研修計画も一覧にして、個別計画と全体計画が見渡せる仕様となっている。研修においては職員の意向と事業所からの提案により、内容や参加者に偏りがないように考慮されている。外部研修を受講した場合はその知識を共有するために内部研修を行っている。また、そのほか、働きやすさの観点からは、事務処理の時間を確保したり、休暇取得において相互理解と協力体制により希望休が取得できる体制がある。これらの職場環境が職員の意欲向上にもつながり、長く働く人材になるよう支援している。

**チームワークの強化に取り組み、組織力の向上を図っている**

朝のミーティングでは、利用者の前回の利用時の様子を振り返り、当日の指導内容に反映させている。また、夕方のミーティングでは振り返りと検討を行い、互いに話し合う場面があり、サービスの向上と業務改善に取り組んでいる。組織として課題が生じた場合は、経営層と協力して職員会議で検討し、解決に向けて行動している。今年度は管理責任者が交代し、組織の課題解決や、強みをより活かせるよう話し合いの機会が増加しており、チームワーク強化にも注力している。

7 カテゴリー7	
事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
令和3年5月から令和4年4月にかけて不正請求と不正な行為が理由となり、返戻と新規利用者の受入れ停止(3か月)の処分を受けた。そのため事業所運営の適正化に取組み、利用者および雇用している職員の職場の安定化のために経営層と新しい管理責任者の下で改善を図った。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
<p>地域主導の事業所としてスタートしたことから、管理責任者や職員が動きやすい環境を優先的に整備した結果、経営層は運営に関して口を挟むことなく、赤字経営についても長期的なスパンで経営の黒字化を目指す姿勢を持っていた。しかし、この方針により課題が潜在化し、不正行為と行政処分の発生を経て、経営層は事の重大性や事業所としてのコンプライアンス遵守に関する多くの気づきを得た。この経験を踏まえ、経営層は資金提供だけでなく、組織改革にも取り組むこととなった。</p> <p>ガイドブックをバイブルとし、マニュアルの整備や人材育成の制度などを構築し、請求業務に関しては2名でのチェック体制を整えるなど改善した。幸いにも、利用者からの信頼は厚く、管理責任者以外の退職者もなく、地域からも支援の手が差し伸べられるなど、サービスの質や地域との関係性には影響がなかったため、利用者にも混乱は生じなかった。今年度の取り組みは、経験を生かして今後の成長に向けた道筋を築く重要な一歩となっている。</p> <p>今後はコンプライアンス遵守はもちろんのこと、地域交流の促進、実習生の受け入れなど、大学を含む関係機関との協力を強化する計画を立て、中期的な視点で事業所の発展を図っている。</p>	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

子どもたちの成長を促進し、生きる力を養う基盤づくりの一環として、地域のイベントを通じて子どもたちが社会と関わる機会を提供し、それを活動計画に組み込んでいた。しかし、新型コロナウイルスの影響で数年間、イベントへの参加ができなかった。この状況に対応して、代わりに通年を通じた戸外活動を工夫してきたが、引き続きイベントへの参加や戸外活動の拡充に向けて機会を模索している。

目標の設定と取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li><li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li><li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li></ul>
取り組みの検証	<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li><li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li><li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li></ul>
検証結果の反映	<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li><li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li><li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li></ul>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

港区内のポチャ大会への参加やコンサート鑑賞など、新型コロナウイルスの感染予防を心掛けながら行うことができた。また、秋には商店街のハロウィンイベントに参加し、子どもたちは思い思いに仮装してイベントを楽しむことができた。これらのイベントは初めての場所や人と接し、社会マナーを学ぶ貴重な機会となっている。通年行っている戸外活動は、地域に住む子どもたちにとって生活の一環であり、体を動かすだけでなく、地域住民や公園を利用する保育園児や小学生との交流なども自然な形で行っている。

イベントへの参加や情報提供は地域住民からの協力があり、地域に必要とされる存在であることが確認できる。今後の目標としては、イベントへの参加だけでなく、港区民まつりに出展することを掲げ、情報発信ができる事業所として発展していくことを目指している。